

*子どもを産んで育てていこうと国がいつているのに、医療費のことでごたごた言うのはおかしい。

*義務教育の間は続けてほしい。

*調剤してくれる小児科でも、薬代は支払わないでよいようにお願いしたい。

*とても助かっていますが、手間がかかっても補助金が多い方がいいのかなと思います。子どものために使われるお金は沢山あったほうがいいので、そのためなら親の手間がかかるほうがましかなと思う。

*就学前まで延ばしてほしい。

*就学前まで無料にして欲しい。

*小学生も助成してほしい。

*「現物給付制度」は手続きがなくなり大変ありがたい制度だと感じていました。小さな子どもをもち、毎日のあわただしい生活の中で助かっていることの一つだったので、県の考えはこの時代の中でおかしいのでは？

*今までは医療機関に受診する際、現金をどのくらい持参したら良いか考えていましたが、今はとりあえず千円あればOKなので、大変助かります。以前の申請の時は返金額が自分で計算できなかったのも、行政から振り込まれる金額を確認できず、不安な気持ちがあったので、今回の現物給付制度は明確でとても良いと思います。

*他府県では子どもの医療費が無料というところもあるのに、補助金を減額するなんてとんでもない!!と思います。少子化という世の中で、こんなことをするのは、大変間違っていると思う。

*子どもが1歳10ヶ月まで東京に住んでいました。長崎に来て現物給付でないことに非常に驚きました。今まで救急で2度病院にかかったことがあります(東京にいる時です)。もし、現物給付制度でなければ、あの時病院にかからなかったかもしれない、命を落としてもおかしくなかった、と思うとゾッとします。現物給付制度は「安心して子どもを育てて下さい」と行政が社会が態度で示してくれる制度だと思います。今のような核家族、少子化の社会で、行政ができる数少ないことのひとつではないかと思っています。

*アンケート「9」の問題に関しましては、やはり疑問です。利用者にとってはとても有り難く、窓口の方の日常業務も少しでも軽くなり、双方にプラスになることですから～今後、見直しが十分に必要と思われれます。長崎県婦人連合会の方からも働きかけて頂くつもりです。

*「福祉医療費受給者証」を1人分紛失した。

*長崎市外・県外でも医療費助成制度「現物給付制度」が行なえるようにしてほしい。

*減額には反対です!!他に削減出来る所はあるはず!!もっとよく検討してほしい。

*公務員なので、現物給付制度は利用されず、現状のままです。

*長崎市の現物給付制度への変更はとても良いことだと思う。今後は県に対し、補助金の削減をしないように要望すべきだと思う。また無料制度はすべきではないと思う。無料にすることにより、必要のない病院受診がでてくる可能性があるし、高齢者や障害者、低所得者に対し、手厚い制度をつくるべきだと思う。

*住所は市内だが、病院は西彼杵に行きたい、という場合もあるので、ぜひ県全域で実施していただければ…と思います。手続きの手間が省けるのは、働いている親にとって、とても助かります。

*子育て支援の反面、医療が軽視される原因にもなる。医療行為に対し、あたり前という感覚を育てる。一律に助成する必要はそれほどない。高所得層は負担してよい。

*現物給付制度はこのまま続けてほしいです。

*少子化が問題視されている時期に、前向きな対応で、非常に評価できることと思います。県の対応には疑問だらけで、納得できないことがあり、市の方針に影響がでるのが心配です。

*制度はとても良いと思うが、対象外のため、利用できない。申請することで、助成は受けられるが、共働きのた



め、時間に追われることが多く、すぐに申請ができない。対象の枠を広げてほしい。

*全国一律の制度にしてほしいし、対象年齢を下げてもいいので（5歳未満など）、負担金をなくしてほしい。

*⑨であるように、いい制度に対して、その制度をやりやすくするのはおかしいと思います。「申請しないと支給しない」→申請しない人がいるから助かるということですかね？制度を利用しやすくすることと逆行していると思います。

*以前は市役所に申請に行くと、そこにはいつも数名の職員がいました。それ自体が無駄に思われてきますが…。

*手続きをする必要がなくなったので、大変助かっています。国全体で実施するべきです。補助金の減額はやむを得ないとは思いつつも、少子化に対して問題になっているのに、反比例しているように感じます。

*本当に良い制度でとても助かっています。こういう子どもに関わる制度を削減せず、もっと他の部分で削減できるのでは？と思います。

*医療費助成制度は大変助かっています。公立学校共済組合のため、現物給付制度を利用できないのが残念です。助成分を戻してもらう手続きが仕事等のため、なかなかできません。

*子どもが3人いるので、3人とも病院にかかるとそれだけ1回に払う金額が大きい。またインフルエンザのワクチンを受けるのにも3人とも2回ずつなので、いくら補助があったとしても、金額が高くなるし、同じ病院でも近くの長与町・時津町の方が補助金が安くてどうして金額の差があるのかと思います。少子化というのに子どもをたくさん生んでも生んだ人たちは何かとくがあるのかと思います???

*小学校入学までは補助していただけたらありがたい。

*大学病院がこのシステムが無いのは知らなかった。病院によってある所、ない所はおかしいと思う。

*病院に行くたびに、高い金額を支払って駐車場代まで支払って大変なので、子どもが少々の風邪を引いても、助成制度が無くなったら、連れて先生に診てもらおうことが出来なくなるかもしれないです。1人目でこう思うのですから病院代は高く大変ですよ。2人目を考えている母より

*子育て支援とは名ばかりと県の方針には幻滅してしまいます。共働き世帯が多い中、長崎市の「現物給付制度」は世の中の流れに添ったものであり、手続きの手間も省けて非常に助かっています（育児+仕事は忙しい）。少子化対策と県の方針は逆行していると考えます。

*すごくこの制度で助かっているので続けてほしい。

*全国どこでも子どもの健康を保ちながら安心して子育てができる社会になってほしいです。

*手続きの手間が省けることは育児する上で助かるので広めてほしい。

*総合病院での現物給付制度も導入してほしい。原爆病院等の。

*長崎市内でもこの制度の対象外になっているのですが、なっていない共済組合について理解が不十分でした。よく知らないのだからわかるような説明があると助かります。

*「現物給付制度」は、助成分を戻してもらう手続きが無く本当に助かっています。子どものいる家庭は、支払いの額や手間（手続き）の面の負担が楽になると助かります。

*私のところは子どもが多く、みんな喘息をもっていて月に何度も病院に行っては吸入をしたり薬をもらったりと、現物給付がない時には子どもを病院に連れていきたくてもいけない時がありました。今はとっても助かっています。

*税金のムダ使いや、収入の多い方（公務員）、娯楽などの経費を市民の税金などで支給されている中、減額される1億円の使い道がどんな風になるのかが気になる所でもあります。うちの子は6才なので、今年の3月までとなっていますが、これからも未だ利用できると思っていた方々はどんなお気持ちなんだろうね…。減額することにより、こんな風になります、とかがあれば…と少し感じました。

*夜間の急な発熱や休日のけがなどで時間外に受診することがありますが、“いくらかかるかな？”という心配がなくなり助かっています。子育て中の私は、この制度がベストだと思っています。

*小学校就学前までとなっていますが、何歳までと決めて欲しい。うちの子は早生まれなので4月生まれの人と比べると約1年間の差があるので。

*生活保護を受けているので「福祉医療費受給証」を持っていない。

*子どもはすぐ風邪をひいたりと病院にかかることが多いので、お仕事をしている方にとっては助成分を戻してもらおう手続きなど、なかなか行けないので、実費を払わなければいけない事が多かったけれど、「現物給付制度」は、その場限りなので、本当に助かっています。

*「現物給付制度」はとてもありがたいがまだ他県との差もある。中学生まで助成の対象などの県もあると聞いたことがあるので、対象をせめて小学生までにしてほしい。

*少子化と話題にして言っているが、子どもに関する助成制度があまりよくないので、子どもは欲しいが経済面等を考えたら生むのを拒んでしまう。

*働いていると助成分を戻してもらおう手続きにもなかなか行けず、郵送でとは思いつつ後回しになっていたので現物給付制度になってからとても助かっています。

*補助金をなぜ減額しなければならないのか、その減額してできた1億円は何に使われるのかきちんと知らせてほしい。でも補助金削減には反対です。

*高齢社会なので仕方ないかもしれませんが、子どもを持つ家庭に対して、もう少し充実した助成制度を作って欲しい。(市職員の給料カットしてでも市民のために税金を使って欲しい！)

*少子化に歯止め対策の一つになるのでは？

*昨年、突然子どもが入院することになり、民間の保険にも加入しておらず、請求がいくらくるのか心配してましたが、「現物給付制度」のおかげで、窓口での支払いが少なく安心しました。

*小学生低学年ぐらいまでは受診する機会がまだまだ多いので、対象年齢をもう少し伸ばしてほしいです。

*仕事をしているので以前は市役所へ行くひまがなく、1ヵ月の子どもの医療費が高額になると負担になっていたが、現在の制度になり、負担を感じる事がなくなり助かっています。

*小学生になる頃から病気はしないようになっていきますが、ケガ、歯科などは行くことが多くなります。小学生低学年頃までは医療費制度を考えて欲しいと思っていたのが、補助金減額となると不安です。子どもは喘息があるため、病院で吸入が必要なのでピンクのカードはすごく助かっています。

*あまり難しいことは分かりませんが、子どもはちょっとした事で熱を出したり、病院に行く回数が多いので、この制度は助かりますが、この分を税金で取りそうでちょっと怖いです。

*子育て中、手続きの大変さに手続き漏れが出てちょっと不満がありましたが、現物給付はその大変さもなく助かっています。長崎県の減額という方針は、少子化、少子化と言っている割りに、親たちがどうしたら子育てしやすいのかを全く考えていないような機がします。もっと別のところを減額し、もっともっと子どもが安心してうめるような県にして欲しいです。

*以前までの償還払い制度だと、手続きのし忘れや、全額を支払わないといけなくて病院に行きたくても行けないなどを聞いたことがあります。子育てを支援するという面から現在の制度はとても良いと思うので、減額などはやめて欲しい。

*たくさんの子どもがすくすく育てられる町にしてください。

*小学校入学前までではなく、中学入学前までに延ばして欲しい(喘息やアトピー性皮膚炎のため、医療費がかかりすぎるため)。

*対象を小学校就学前まででなく、小学校卒業までに広げて欲しい。

*今後は「福祉医療費受給証」を出さなくても現物給付できるようにして欲しい。受給証のサイズが大きすぎる。市外の病院で使えないのが納得できない。

*このご時世、産むまでの健診で10ヶ月お金がかかり、出産のお金、そして子育てに。今、5歳になって病院も減りましたが、医療費がかかり大変で、兄弟をつくりたい家族の祈りもなかなか実らずです。

*保護者側の利便性が高く、以前に比べ心理的負担（手続きもれなど）が軽減された。これは育児における負担軽減の一部分で、小さいものかもしれないが、こういった工夫を重ねることが少子化の歯止めにもつながると思う。

*福祉医療費受給者証はもちろん、保険証まで財布に入るカード型にしてほしい。子どもを抱っこして、受付等する際、バックの中をあれこれ探したり、提示後放り込むように（子どもを抱っこしてるので）しまうから使いにくい。

*金子知事は福祉…保健分野の予算は減らさないと言っていたのに、助成金は対象外なのではないでしょうか。他県には中学生になるまで制度を拡大するところがあります。長崎県は時代と逆行しているのではないのでしょうか。

*子どもが少なくなっているのに補助金を減額?!するのはおかしい。もっと子どもを生むのが減るのでは? 日本のためにも子どもにお金を使うべきだと思う。

*5才の子が頻繁に病院へ行くのでお金がない時は困ってました。この現物給付制度になり大変助かりました。

*1人目より2人目の時からの方が「制度」が良くなってきています。これから先お子さんを産む方がよりよく、子育ての助けになってもらいたいです。子どもは病気しやすいのでお金も雑費もかかります。今のままでは子どもを産みたくても、まだまだ大変なのでほしくても無理です。

*この事よりも、ピンクカードの「福祉医療費受給者証」を世帯ごとに一枚化させて「社保」みたいなカードサイズにしてほしいです。この要望はむずかしいのでしょうか?

*すごく助かっています。共働きで手続きに行くことができなかったので、現物給付になる前は助成は受けられませんでした。すごく不公平だと思っていました。

*医療費助成制度はすごくいいと思っています。すごく助かっています。ただ、小学校卒業まで引き延ばしてほしいです。

*医療費助成制度では、できれば小学校の低学年までに引き上げてほしいと思うので「補助金」のカットはあまりに大きいと思ってしまいました。子どもの少ない今、国はもう少し今の若い父母の意見を聞いてもらいたいです。

*他県では子どもの医療費（実際に支払う額が）0円という所もあるのに、なぜ減額するのかすごく不満です。高齢化にばかり気をとられ、少子化に対して減額とは増々少子化になると思います。小学校低学年でもよく病気になるので、低学年までは引き延ばしてほしいぐらいなのに…。なぜ減額なのですか??

*とてもムカつく。きちんと全世帯にしらせるべき。

*少子化少子化と問題視されています。子育てにお金がかかるのも一因だと思います。乳幼児期は病気やけがも多く、医療費の助成制度は本当に助かります。現物給付となればなおさらです。しかし県からの補助金がかットされるとなれば、現物給付でなくてもいいので医療費の助成がきちんとできる形で残すべきだと思います。

*どうして1億円ものカットが必要なかわからない。

*病医院の受付の方が「現物給付制度」の仕組みを良く理解されてない事がありました。受診する側と病院側への制度の説明の場は?

*福祉医療費受給者証が財布に入るカードサイズになるととても助かります。

*子どもはしょっちゅう病気になり、親はすぐ病院へ連れていきたいのに、補助金カットなど子育て家庭の負担を増やすことのないようにしてほしい。少子化社会を止めるためにも子育てのしやすい社会にしてほしいです。

*このアンケートは補助金が何に使われているのかということがはっきりと伝わってきません。補助金をカットされるから、されない様に市民の声を…という感じなのではないでしょうか? もらえないよりもらえたほうがいいかもしれませんが、これが税金のムダ使いなのであれば一緒のことだと思います。子ども達のためにもムダをなくす市政・県政であって欲しいです。

*利用者にとって非常に良い制度なのに、補助金を削減するのはおかしい。削減反対です。

*少子化だと騒ぐなら、もっと子どもを育てられる、育てやすい環境を整えてしかるべき、現物給付は本当に助かっています。

*全額助成にしてもらいたい。

*国全体が少子化を問題とあげている中で、少しでも家庭の負担などを減らし、子育てしやすい国を作るため考えてほしいと思います。税金ばかり上げている、ムダ使いしていること事態、期待はうすいですが…。

*今のままでは不公平だと感じています。上の子が入院した時は40万くらい支払いました。高額医療は100万円からだと言われダメで、この助成制度は上限が低いので意味がありません。同じ病室に、佐賀、大分、福岡の人がいましたが子どもの医療費は払ったことないそうです。このままでは長崎の子どもは不安です。この後、入院、手術があるので、この子にいくらかかるのか心配で子どもをつくれません。少子化は進む一方ですね。できれば大好きな長崎を出たいと思っています。

*児童手当同様、対象年齢をもう少し引き上げて欲しいです。

*現物給付になってとても助かっています。小さい子を連れて支所などに申請を出しに行くのがとても手間があるので、2,3ヶ月分まとめて出していました。給付が戻ってくるのが待ち遠しかったですが、今は必ず800円ですむのでお金の心配をせずすみませす。しかし、福祉医療費が受けられるのが「就学前の子」となっているので、1月生まれや、3月生まれの子は、4月生まれの子より、期間が短いので少し不平等だと思います。月齢（〇才〇ヶ月の子まで）と決めてほしいです。

*以前はほとんど助成申請を提出した事が無かったので、変更後は便利になって助かっています。ありがとうございました。

*今後も続けて欲しいと思います。

*「福祉医療受給者証」のピンクの紙の大きさをカードサイズにしてほしいです。

*我が家は学校共済です。どうせ助成されるんだから、あの面倒な手続きを省いて全ての家庭と同じようにしてほしい。なぜ現物給付できないかは、説明書に書いてありますが、あの手間、書類の受け渡しをなくしても、この分の経費削減もできるじゃないですか。適切な助成はできるはずですよ。（不足分がわかるのだから、もどせばいい！！）

*現物給付制度で対象が小学校入学前で終わるのは困る。小学生くらいまではけっこう病気をもらってくるので小学6年生までにしてほしい。これはすごく望んでいます。

*現物給付制度はとても便利で助かっている。申告もれがなくなって安心。子育てに力を入れていくはずの時代になぜ減額するのか納得いかない。

*小さい子どもを対象にしているのに償還払い制度は大変だったので、現物給付制度になってすごく助かっています。現に、現物給付制度以前の医療費の領収書を1枚持っていますが、その1枚数百円のために小さい子を連れて、わざわざ支所へ出向いて頂くなんて思いもしません。そういう方が結構いらっしゃるのでは？なので現物給付制度は是非広めて欲しいのですが、その制度で補助金を削減とはどういうことでしょうか？県外では無料の所も多いので、少しは考慮して欲しいです。

*現物給付が開始されてすぐ4月に5日間入院し、便利さを痛感しました。ぜんそく持ちなので何度も通院する月もあるので*本当に助かっています。

*就学前児に限らず、もう少し範囲（年齢制限）を拡大してほしい。歯医者がけっこうかかるのが痛い。

*子の成長とともに病院へ通う回数は減ると言われますが、日々病院通いが多く、この長崎市のおかげで大変経済的な面で助かります。今後もよろしくお願い致します。

*「福祉医療費受給者証」の大きさを元のサイズに戻してもらいたい。

*子育てをされていて医療費助成制度はとてもいいことだと思います。特に慢性の病気など長期に受診が必要だった

りすると負担も大きいので…。

*助成分を戻してもらって手続きがなくなってますごく助かっています。3人目でやっとこの様な制度になり、上の子の時は手続きをしないうまでもらえる期間が終わったこともあり。続けて欲しいです。でも福祉医療費受給者証が大きいのもう少しサイズが小さくなれば良いと思います。

*もう少しわかりやすく説明がほしい。数年間でころころ制度が変わるのはおかしい。上の子ほど損した気分です。

*今までのように手続き用の紙代や、その処理をする方たちの人件費等減るので、その分の減額ならわかるが、病院（自己負担）代が減額されることにより、増えるのは困ります。

*県が「現物給付制度」を実施している自治体に対し「補助金」を減額するのはとてもおかしいと思う。今の制度になって、いろんな手間が省け、子育て真っ最中の我が家にとってはとても助かっている。行政は表向きは“子育て支援”とか“少子化対策”とか立派な事を言っているが、親が望んでいる事に対しては切り捨てている傾向があると思う。それでは真の“子育て支援”になっていないと思う。

*現物給付制度は非常に良いと思うが、少子化対策としても小学校に入学するまで、全額補助にしていただけると助かります。

*小学校卒業までにしていただきたいです。

*住みやすい長崎のことを考え、もっと子ども達のためにより良い制度を作ってほしい。子どもは、いつ病気になるかわからないので、今の制度を引き延ばしてほしい。

*実際、病院に連れて行くのは母親の方なので支払いをするのは母親で、返還される時は夫の名義の方で振り込まれてくるので（家庭内で違うとは思いますが、）いちいち支払った分を夫に返してもらったりできないので、今回のように現物支給制度は、母親にとっては負担が少しでも減り助かります。他の自治体での実施も必要だと思うし、他のお母さん達も助けて欲しいです。でも、県からの補助金カットはおかしいと思います。

*以前は1枚ずつピンクの用紙に名前や住所を記入し（病院・薬局別に）市役所に持っていくという作業があり、手続き漏れなどもありました。2007年より現物給付制度になり、子育てをする親としては大変ありがたく助かっていたのに県から補助金が減るのは逆行しているようで賛成できない。

*子どもの医療費が無料化になるのは反対です（必要ない受診を増やしてしまう恐れがあるため）。しかし、医療費が高額で必要な医療が受けられなかったり、子どもが多い家庭の負担が重くなると困るのでは何としても制度を存続させて頂くことを強く望みます。

*ピンク色のカードを忘れたら、その時は全額支払わなければなりませんよね。そしてピンクの紙をわざわざ支所とか役所に行って書いてだして1ヵ月ぐらいかかりますよね。その所をもう少し忘れた時も何かの方法をとって、すばやく対応して頂きたいです。

*現物給付制度は大変助かっているのだから、これからも続けて欲しいですし、小学生になっても利用できる様になると更に良いと思います。

*病院窓口で支払う金額が少なくなったので、連れて行きやすく2～3日様子を見るではなく、早目に完治できるのですごく助かっています。医療費助成制度をもっと広げてほしいです。

*とにかく長崎市は福祉が充分ではない。余計なものに予算をまわさず本当に困っている人にあててほしい。

*いままでにまだ助成分を手続きしていないので、そういう方のためには手続きがなくなったり、病院代が決まっていることで、子どもを思い、少々でも行きやすくなり良かったです。初めから手続きなくできていれば良かったのではないかと。

*長崎市のことではないが、県は余計な新幹線をつくる位ならもっと必要なことにお金をかけるべきだと思います。新幹線なんかいらぬ!!がんばれ長崎市!!

*他県では医療費助成制度がもっと充実していて、医療費負担が少ない県もあるのに比べ、まだまだ改善してほしい点も多々ある。薬局での薬代等の補助制度もあっていいと思う。病院のみ適用されるから、わざわざ病院に行く人も多いはず。

*補助金を減額するのは納得いかない。

*他県では、自己負担金が全くなく、病院等で診察を受ける際、財布を持たずに受診できるなど、自己負担額をもう少し減らしてほしい。また就学前の児童対象から10歳未満までの対象と枠を広げてほしい。

*平成19年4月から現物給付制度が実施されて、非常に助かっています。6歳頃までの子どもは本当に病気にしよっちゅうかかり、我が家でも毎月毎月病院に行かない月は無いくらいです。昨年3月までは、2人の子どもなのに、なぜこんなに申請書を書かなければいけないのだろうというくらい数も多く（病院が違えば枚数も増えるので）、毎月本当に面倒な思いをしていました。また、今はお金の持ち合わせがなくても病院に行けるので、嬉しいです。

*私としては義務教育中はこの制度があるとすごく助かります。どうしても、ケガ・病気が一番多いので、生活にすぐにかかわってきます。

*病院・教育・福祉の方にもっとお金を使うべき。道路など同じ所（する必要のない所）をお金をかけるのを控えて、考えて頂きたい。

*現物給付になってからすごく助かっています。昔は申請しても書類不足で戻ってきたり、二度手間、三度手間です。結局申請するのをやめたり、と大変でした。たくさんのお母さん方が助かっているのではないかと思います。

*「現物給付制度」は病院へ行くことが多い乳幼児を持つ親にとっては、とても有難い制度だと思う。所得が低い家庭にとっては、子どもの医療費は負担が大きく、800円で受診ができるということは、病気になっても「すぐに病院へ連れて行ける」という心強さがあります。→病気の早期発見、早期治療につながる。もっと国をあげて、子育てや福祉の充実にも力を入れてほしい。

*子育て支援として、とても素晴らしい制度だと思うので、是非続けてほしいです。

*大学病院でも、様々な助成があり、手続きが大変だが、現物給付にしてほしい。体が弱い子をもつ家庭での医療費は、かなり負担がある。入院すると、入院費以外にもかなりの費用がかかる。国も自治体も大変だろうが、もっと福祉の面で充実したものとなって欲しい。

*経済的な負担を減らして、安心して子育てができるように続けていってほしいです。

*これまで、役所での手続きがと一つでも大変でした。上の子は生まれてまもなく入院したり、退院も多く、領収書を保管して、用紙に記入して、貼付して提出というのが何枚にもなり、この制度になって本当に助かりました。

*医療費助成制度をもう少し延長してほしい。

*もう少し形を小さくしてほしい。名刺サイズ？病院の受診カードと同じくらいだと財布にも入るし、持ち運びしやすい。いちいち毎月受診した次の月に提出しに行くのは子どもが小さい時には面倒でした。今の制度はありがたいです。支払いも高額ではなくなるので、家計にもやさしいと思います。



*少子化対策の大きな項目として力をいれていただきたい。

*小さい頃は、かぜなどで受診することが多いのですが、大きくなるにつれて病気よりもケガでの受診が増えてくるので、自己負担金を少しあげても年齢の引き上げをしてほしい（せめて小学生低学年くらいまで。または小学生の間）。

*前まで手続きがわかりにくい。小さい子どもを抱えては手間もかかるので、「ピンク色を持っていても」申請を出さずにいました。医療費助成制度の年齢をもう少し上げてほしい！（10歳位までに）

*神奈川県では全額助成してくれ、自己負担ゼロだったので、驚きました。地域によって差があるのは同じ国なのにおかしい、と感じます。所得は下がり、助成などは不十分…だと地方と都会との差が広がり、ますます地方が住みづらくなってしまふ。国がやるべき!!

*他の地方では、乳幼児の医療費が無料の所がたくさんあるのに、長崎はさらに患者の負担額が増えるのですか。1回の診察で県からの助成は200～300円程度ですよ…。少なすぎると思います。ちがう医療機関に何か所か通うとけっこうな負担です。もう少し真剣に考えて下さい！少子化は改善しないと思う。

*もう少し早ければ良かったと思う。

*公立学校共済組合でも現物給付が利用できるようにしてほしい。手続きの手間がかかるので、子どもが小さいとなかなか申請に行けない。

*現物給付になって支払い等は助かりますが、調剤薬がもらえなくなった分、病院に通う回数分多くなるので、今までとあまり経済的には変わらない！

*小学校入学前までの期間だが、それ以降も病気したりするので、もっと延ばすべきだと思う。

*助成制度を小学生でもできるといいな～と思います。1,600円現物給付じゃなくても、何割でもいいので、医療費が安いといいと思います。やはり子どもはまだまだ病気すると思うので。

*乳幼児の病気やケガが多く、このような制度があるのは大変助かります。そのため、これからの子どもたちのために、お金を使ってほしいです。補助金カットは、最終的に少子化にもつながることだと思います。

*子どもが小さい頃は病院にかかる回数も多く、「現物給付制度」は、手続きもなく、支払う金額も少なくなるので、大変便利で良い制度だと思います。医療費助成制度ももっと年齢を上げてくれると助かります。

*対象年齢の幅を広げてほしい。

*子育てをしていく中で、小さい時は病院にお世話になる機会が度々です。その場で助成していただけるのは本当に助かっていますので、これからもぜひ続けてほしいと強く思います。

*なぜ送られてこないのかわからないままだったので、手続きがされていないならいいので、きちんと説明してほしい。

*子どもの数が多い家庭は助かると思います。年齢をあと2、3年のばしてもらえたらもっと助かります。

*長崎大学病院へ定期的に受診している子がいるので、そこでも現物給付制度を採用してほしい。

*以前は手続きをしないと助成分をいただけなかったのが、現物給付になり、本当に助かっています。大人に比べ、子どもは病気にかかりやすく心配ですので、病院を受診します。子どもを育てていく上で医療費はバカになりません。とてもいい制度で、必要なこと。なのに、県は補助金を減額しようとしているのか疑問です。少子化・教育というのなら、こういうことにきちんとお金を使ってほしいです。

*個人の病院では現物給付がほとんどですが、大学病院や原爆病院でも対象になるようにしてほしいです。

*少し条件があって完全に払い戻しの手続きが不要というわけではないのがややこしい。全額助成になれば良い。

*長崎県は全般的に他の県より子どもの福祉が充実していないと思う。

*現物給付制度の期間をもう少し長くしてほしい。せめて小学生の間までOKみたいに。上の子が小学生でぜんそく・アトピーなどの病気が出やすいため、負担が大きい。子どもが4人いるから、医療費が高く感じるし、上の子はぎりぎりまで病院に連れて行かれない。

*義務教育までは助成があるといいなあとと思う。せめて小学生までは…。

*とても良い制度なので、ずっと続けてほしいです。

*子どもの医療費助成制度は少子化に歯止めをかける政策の一つであると思うので、それに対する補助金カットは時代に逆行していると思われる。子どもを持つ世代のことを考えてほしい。

*他県では子どもの医療費が全額無料の所もあると聞きます。長崎もそうになってほしいです。

*裏面を読んで初めて知りましたが、三菱病院や大学病院の総合病院でも助成制度を導入して、市内一律にしてもらいたい。

*対象年齢をもう少し広げてほしいです。

*毎年、手続きがあり、新しいピンクの「カード」が前のだったか、新しいのだったか間違える時がある。「カード」をもう少し小さい物で丈夫にしてほしい。ピンクの「用紙」は他の市で受診した際も出さなくて良いようになればいい。

*子育てをしている親や仕事を持っていると、手続きに行くのがとても困難です。書類の記入や、書類提出するのも時間がかかり、とても大変です。昨年から制度が変わりとても助かっています。長崎県内が統一されて実施されることを願います。

*「現物給付制度」というのは私達にとって、とても助かる制度だと思います。補助金を減額するというのは残念な思いもあります。

*子どもを育てる上で、一番の悩み心配ごとは医療費と保育施設のことだと思うが、利便性の良い手厚い医療費助成制度と充実した保育施設は、少子化対策のためとても重要だと思います。

*小学校入学までの助成ですが、せめて低学年2～3年までは助成してもらいたい（子どもが病気やケガをする年齢を考えると）。確か神戸は6歳まで0円と聞いたのですが…もっと子育てしやすい長崎県（長崎市）であって欲しい。

*現物給付によって補助金を削減していくのは納得いきません。子どもはよく病気をするので、もっと医療費を助成していいと思います。子どもを出産するとなると今のままでは不安です。特に3歳まではよく病気をするので、3歳までは無料とするなど、もっと育てやすいようにして欲しいと思います。

*アトピー性皮膚炎、喘息などがあり、多い月になると何度も受診します（風邪などで）。薬局も違うところへ行って、以前は手続きするのが大変でした。現物給付になり、手間がなくなり、本当に助かっています。負担が全くない県もあるようなので、全国的に同じサービスが受けられるといいのと思います。

*現物給付により手続きが楽になり、実際のところ病院にもかかりやすく、大変助かっています。請求の手続きをしなければ戻ってこないという現状はおかしいと思っていたので、とても良い制度で、育児をする者にとって大事な制度だと思います。県内外でこういう制度を広められれば大変良いと思います。経済的には様々な事情があると思いますが、ぜひ広めて欲しいです。

*無駄な公共事業をなくせば、現物給付制度を実施しても何ら問題ないと思います。

*一度始めたことをやり続けられないということに対して不満。計画性のなさを感じる。始めてから間もないと言うのに。

*現物給付制度はとても良いので、このまま続けて欲しいです。

*少子化が続いているのにこの制度がなくなると、子どもを産む家庭ももっと減るので、絶対に無くさないで欲しい。現に利用していて、ものすごく助かっています。

*小学生も対象に入れて欲しい。

*ぜひ現物給付を続けて欲しいのに、補助金を減らされるのは納得できない。

*医療費助成制度はとても良い制度だと思います。対象年齢が小学校就学前までになってとても良かったと思っています。子どもは病気にかかりやすいですが、この制度のおかげで小児科や病院を受診しやすくなり、重症化するのが防げているように思います。

*小学生になっても医療費助成をして欲しい。

*働いている人にとっては申請書を取りに行ったり、窓口に出したり（郵送も可能だが…）大変だったので、現物給付制度が導入されてとても助かっているのに、県の方針と違うと言うことで、補助金をカットするのはおかしいと思う。子育て支援の一環として、平等に補助金を分配して欲しいと思う。

*長崎は田舎の割には公共料金も高いし、ガソリン代も高い。今までの償還払い制度にも不満を持っていたが、これが現物給付になり非常に喜んでいて。少しくらいは良いところがないと、人が居つかなくなるのではないかと。

*現物給付制度になって金銭的でも、手続きの手間もなくなり、とても助かっています。長崎市だけでなく、全国

で普及して欲しいと思います。

*子どもが小さいうちは何かと病院へ行くことが多いので（小児科、皮膚科など）（特に集団保育は）、現物給付はすごく助かります。

*大学病院に通院させているのですが、大学病院は現物給付ではないので、できればして欲しいと思います（特に歯学部）。

*現在の自己負担 800 円（2 回まで）も高いと思っています。その上、補助金削減というのは全く理解できません。

*なぜ県からの「補助金」減額が分からない。どうして民間人の生活ばかりを上のは苦しめるのですか？ 子育てしている間は病院とは切っても切れない仲です。安心して子育てさせて下さい。

*熊本より転居し、いろいろと手続きする中で、医療費受給について意見を書かせてもらい、2 年も経たないうちに長崎でも受給証ができたので、とても嬉しく思いました。今後もいろいろな面で便利になったらと思います。

*現物給付制度はすごく助かっています。今までの、後から戻ってくる方法だと、最初にお金がないと病院に行けない…という悩みがあったが解消しました。ただ、小学生の子どもに関しては、大人同様の医療費なので、せめて小学 3 年生までは安くなってくれないか…と願うこの頃です。

*定期的に病院へ通院することが多いので、領収証等がすぐたまってしまい、以前は手続きが面倒で何度か受給していませんでした。現物給付制度が始まり、特に手続きもなくスムーズに行くので、大変助かります。意見としては、年齢がもう少し上まで対象になれば助かります。アレルギー体質などは結構病院代がかかるので！！よろしくお願いします。

*子育てをする上で非常に助かっています（子どもの病気ほど不安な時はないので）。今後も続けて欲しい。

*福祉医療費受給者証を保険証のサイズで破れにくい物にして欲しいです。

*受給者証が大きすぎるので財布に入らない。今、保険証はカードサイズになったのに、受給者証は大きく、別の入れ物が必要です。持っていないと手続きが必要になり、面倒です。自動的に対象者に現物給付が行われると助かります。

*助成があるからやみくもに病院を受診しているわけではない。子どもは急に具合が悪くなるので、病院への支払いが少なくなるのはとても助かっている。1 人子どもが病気になると、タクシー代、食事代等、別のお金も必要となるのに、広く考えが回らない担当者の方へは実状をもっと理解して欲しい。子どもを育てやすくするためにもお願いします。

*現物給付制度になり、助成分を戻してもらい手続きがなくなり、大変助かっています。仕事をしていてなかなか支所へ行く時間がないので。また、手続き書類を書く時間も削られ、子どもとの時間も増え、大変嬉しく思います。

*小学校卒業まで、医療費助成制度の対象にしてもらいたい。

*長崎市だけとは知らなかった。ピンクを役所に持っていかず、とても助かっています。ありがとうございました。もっと安くなるともっと嬉しいのですが…。

*老人に使うのも良いが、少子化の時代なのでもっと子ども達にも使って欲しい。

*私の場合、子どもが急に入院となり、「現物給付」ですごく金銭的に助かりました。

*病院窓口で支払うのは 800 円だけと分かっているので、気軽に病院に連れて行ける別に子どもの医療費までケチっている訳ではないが、気持ちが楽。

*子どもの医療費助成はせめて中学生まで延長して欲しい。

*病院を受診した時点で現物給付を知りました。もう少し、誰でも知っているように情報を提示（ポスターやラジオなどで）して欲しいです。

*すごく助かっている制度です。このまま続けて欲しいです。